

# 二級河川滝川における多自然川づくりの取組事例



千葉県 安房土木事務所  
建設課 三塚

# 目次

1 滝川の概要

2 取組方針

3 現地状況

4 まとめ

5 今後の展望



の多自然型川づくり

# 滝川の概要（安房土木事務所の概要）

- 千葉県最南端
- 館山市、南房総市、鴨川市、安房郡鋸南町の4市町を所管
- 管内の二級河川延長 約197km



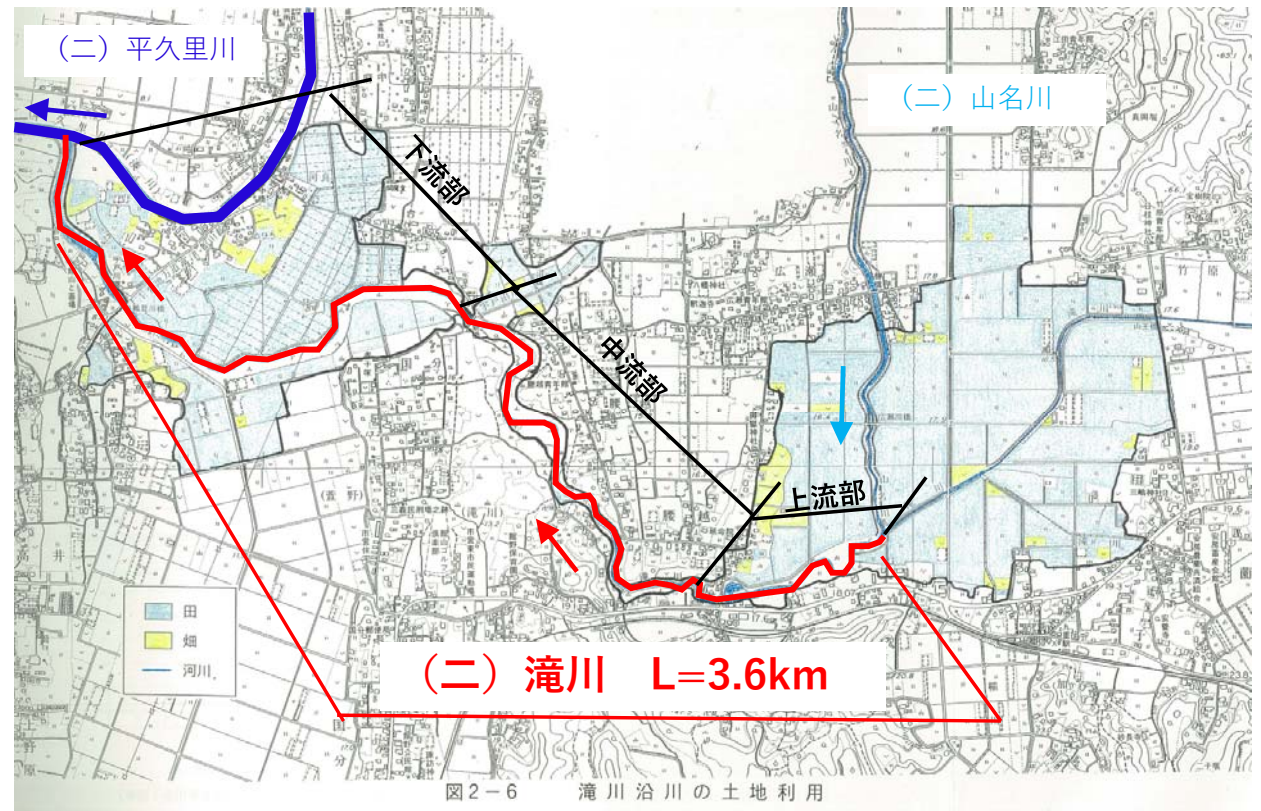
(Googleマップより)



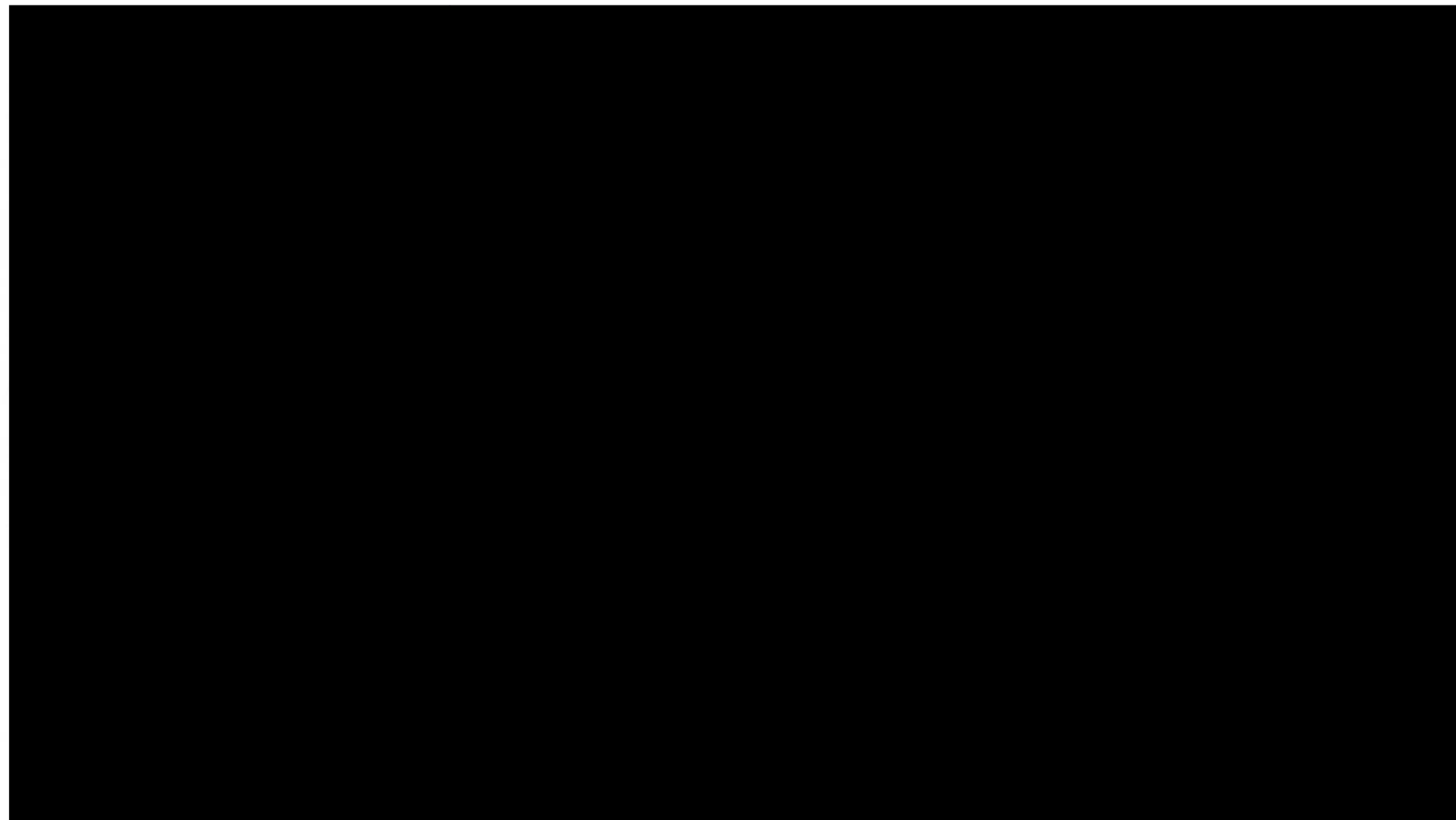


## 滝川の概要（沿川土地利用状況）

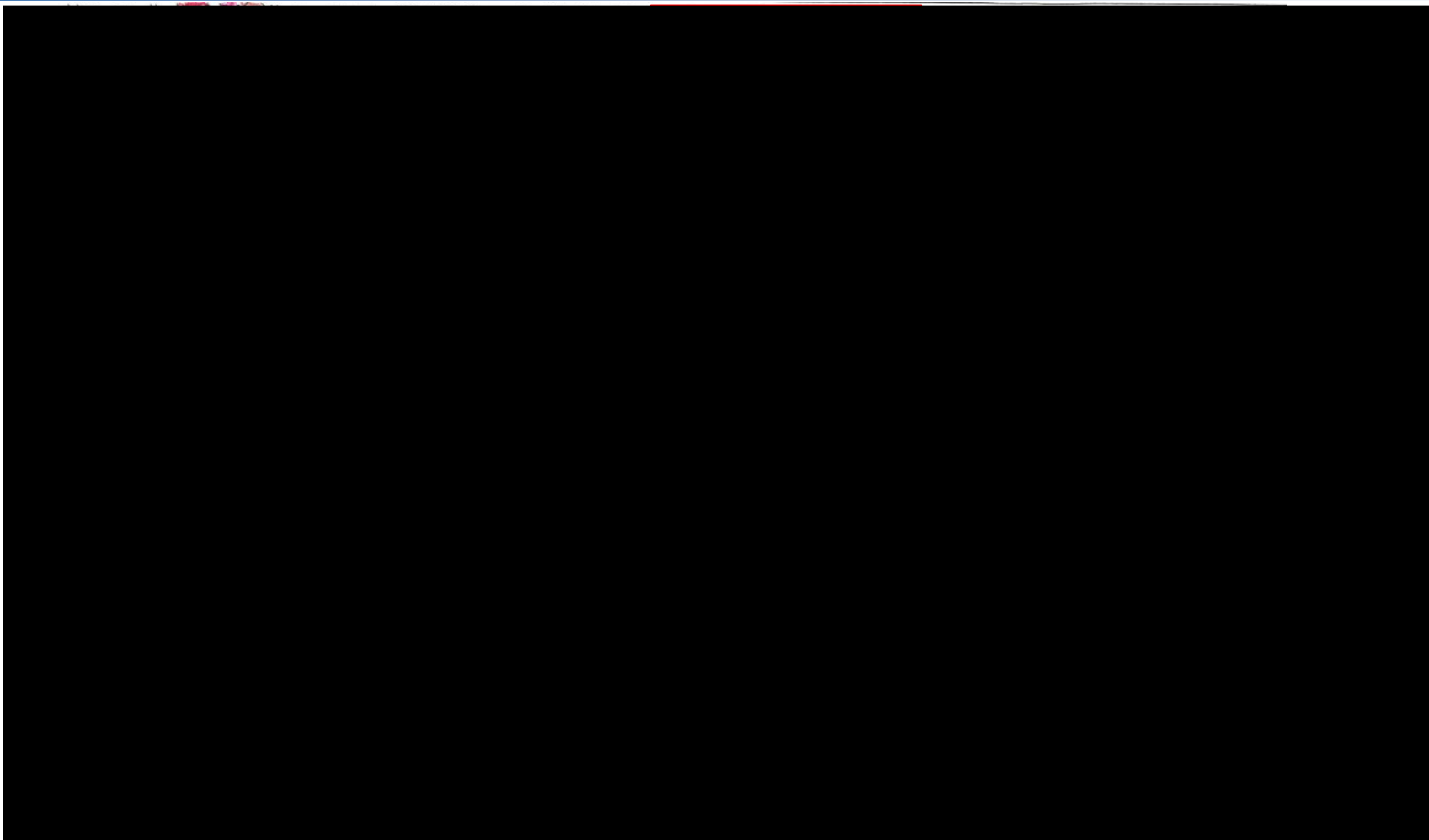
- 上流部、下流部は  
水田がほとんど
- 中流部には宅地がある



## 滝川の概要（鳥類生息状況）



## 滝川の概要（貴重植生状況）







# 取組方針（平面形）

① 淵を保全

② 元の滞筋を模した河道

③ 元の地形を生かして島をつくる

④ 木陰を提供するよう植樹

管理用通路を利用する人、  
周辺の農地で働く人に  
木陰を提供するように、  
樹木を植栽する。

④

② 現在の滞筋を模した河道。

①

現況の滞筋を模した河道とするが、  
水衝部や現在淵のある箇所で、  
施工後においても淵が形成されると  
予想される区間は、法面勾配を  
立てた将来断面で施工する。

①

現況の滞筋をそのまま  
利用することにより、  
水衝部の淵が保全される。

管理用通路は、  
現在ある川沿いの  
道路を利用する。  
道路高が計画堤防高  
よりも低い場合は  
道路をかさ上げする。

メダケに囲まれた静水域。  
人の出入りが少なく、  
魚類のすみかになる。

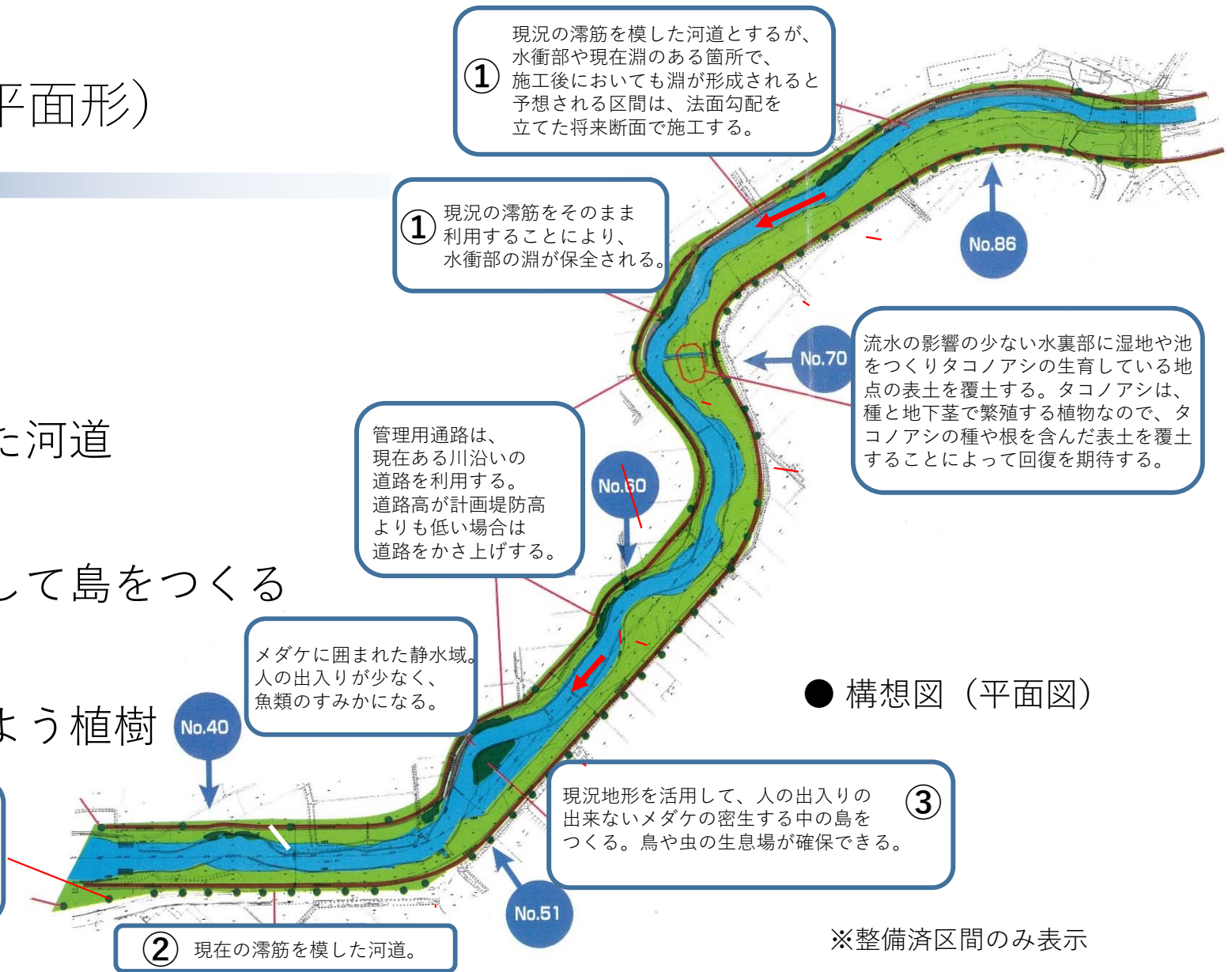
③  
現況地形を活用して、人の出入りの  
出来ないメダケの密生する中の島を  
つくる。鳥や虫の生息場が確保できる。

③

流水の影響の少ない水裏部に湿地や池  
をつくりタコノアシの生育している地  
点の表土を覆土する。タコノアシは、  
種と地下茎で繁殖する植物なので、タ  
コノアシの種や根を含んだ表土を覆土  
することによって回復を期待する。

● 構想図（平面図）

※整備済区間のみ表示



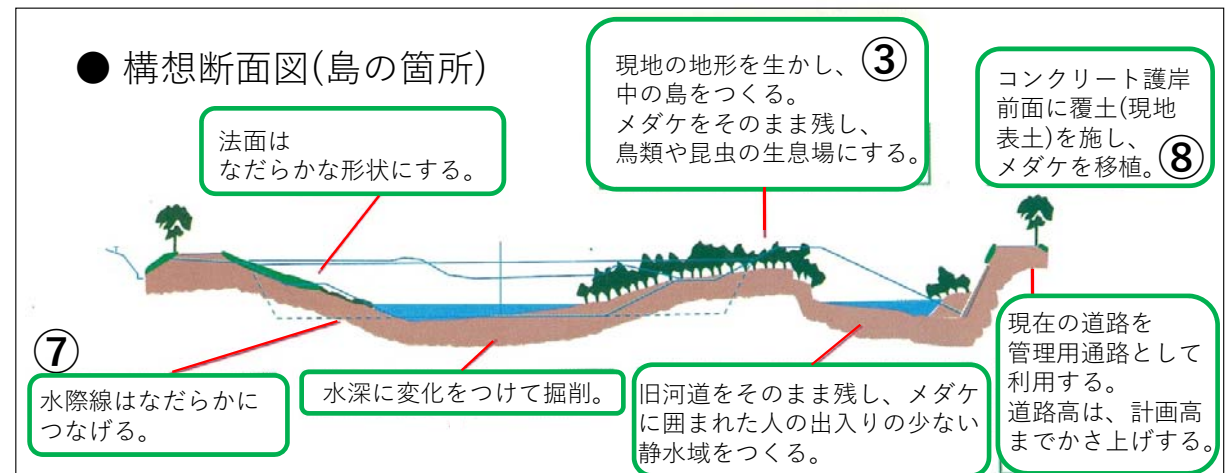
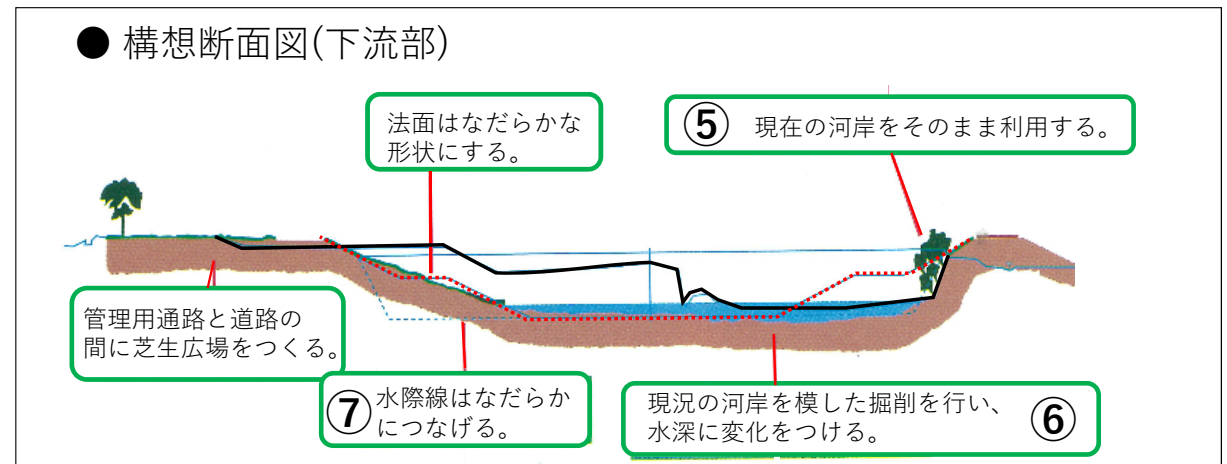
# 取組方針（断面形）

⑤元の河岸をそのまま利用

⑥元の河床を模した掘削

⑦水際線はなだらかにする

⑧もとの表土を覆土する



# 現地状況（改修前）

<平成7年頃>



# 現地状況（改修後）

< 平成30年 >



## 現地状況（追跡調査箇所）

<平成9年>



# 現地状況（追跡調査箇所）

<平成11年>



# 現地状況（追跡調査箇所）

<平成30年>



## 現地状況（維持管理箇所）

- 右岸側は草刈り実施
- 農家の  
休憩スペースに
- 親水性がある





## 現地状況（川幅変化区間）

- 河床にも変化が見られる
- 河床に植生が根付く
- 鳥類の営巣の場



## 現地状況（島の箇所）

<平成10年>  
(施工中)



# 現地状況（島の箇所）

<平成12年>



# 現地状況（島の箇所）

< 近年 >

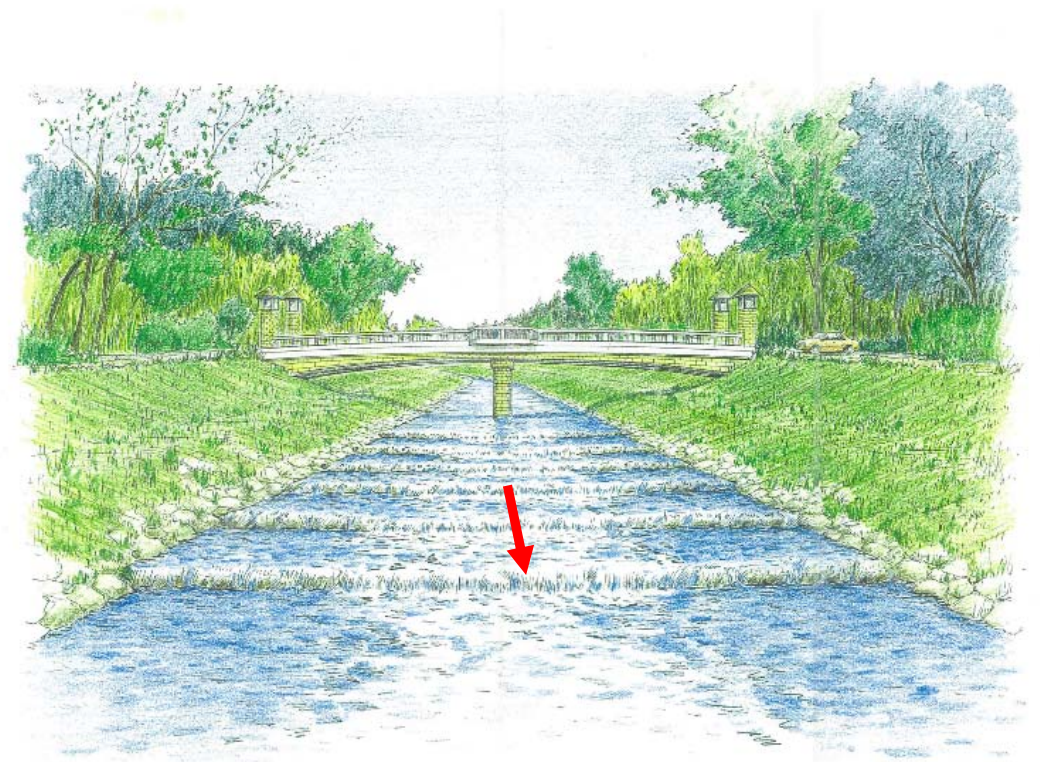


Googleマップより

# 現地状況（落差工改修箇所）



↑ 改修前



↑ 改修イメージ

# 現地状況（落差工改修箇所）

< 改修後 >



## 現地状況（近年施工箇所）

- 右岸側では  
覆土により植生が繁茂
- 水衝部の  
かごマットはまだ目立つ
- 河床はまだ平面的



## まとめ

---

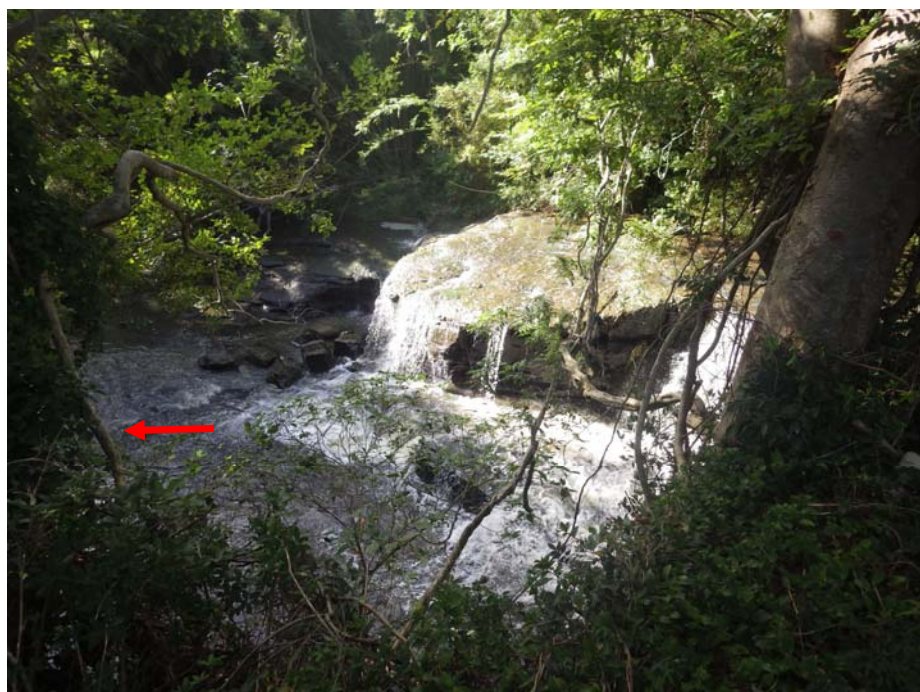
- 河川改修前の自然が回復しており良好な環境となっている。
- 自然の回復には長期間を要する。
- 場所に合わせて適切な維持管理が必要となる。



## 今後の展望

- 河川名の由来である「滝」や、近くにある天然記念物  
→ 保全はもちろん、観光資源として生かす

滝川のびやくしん  
↓ (館山市天然記念物)



御清聴ありがとうございました

---